



1

研究室紹介

長尾研

長尾研概略(2021年2月5日現在)

- ⇒ 教員: 長尾 篤樹(助教) 居室: 301室
 - ⇒ 専門: 理論計算機科学
(特に計算量理論, アルゴリズム論)
 - ⇒ 授業: 2年前期『~~システムプログラミング実習~~』
3・4年後期『計算基礎論』◎

- ⇒ 研究室: 309室
 - ⇒ 次年度の学生: M1:1名
B4:最大3名

長尾研スケジュール予定



⇒ゼミ・ミーティング

⇒コアタイムは週5コマほど。

⇒それ以外も研究室に入り浸ってくれると嬉しい

⇒合同ゼミ・単独ゼミ 証明を読もう！

⇒卒研用に個別ミーティング 証明を作ろう！

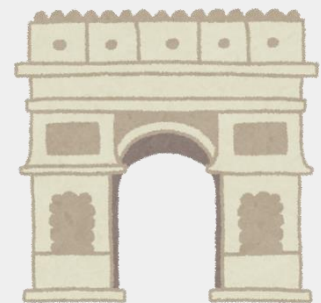
⇒学会等

⇒7月末：合宿形式のシンポジウム

⇒去年は中止 今年は九州？

⇒随時：成果が出れば各地で学会発表

⇒良い結果だと海外へ！



専門分野の説明

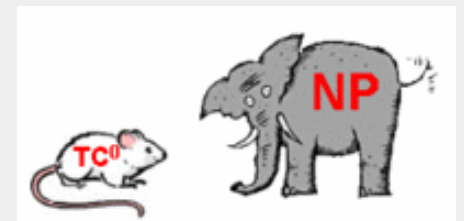


理論計算機科学

- ⇒ 計算機科学分野のうち, 理論を扱う分野
 - ⇒ 組合せ理論・グラフ理論・情報理論等を扱う
 - ⇒ 確率論・代数等も時々扱う

計算量理論

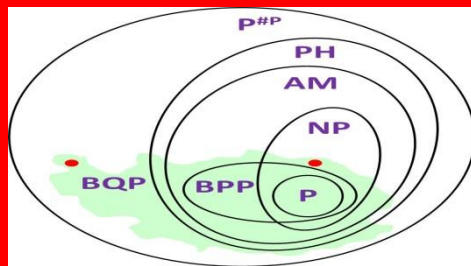
- ⇒ 問題(関数や言語, 集合)の難しさをその問題を解く計算モデルの要求するリソースの規模によってクラス分けする学問



扱うテーマはいろいろ

- ⇒ キーワード: NP完全, アルゴリズム
- ⇒ 論理パズル・組合せゲーム等も…

計算量理論



厳密アルゴリズム

Exponential Time Algorithms for 3SAT

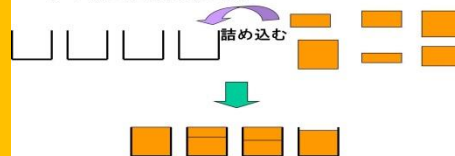
- 2^n algorithm is trivial
 - 1.618^n [Monien, Speckenmeyer 85]
- $$F = (x_1 \vee x_2 \vee x_3)(\bar{x}_1 \vee \bar{x}_4 \vee \bar{x}_5)(\bar{x}_2 \vee \bar{x}_6) \cdots (\bar{x}_1 \vee \bar{x}_3 \vee \bar{x}_5) \cdots$$
- $$\begin{array}{l} x_2 = 0 \quad \quad \quad x_2 = 1 \\ \swarrow \quad \quad \quad \searrow \\ T(n-1) \quad \quad \quad T(n-2) \end{array}$$
- $$T(n) = T(n-1) + T(n-2) \Rightarrow T(n) = \left(\frac{1 + \sqrt{5}}{2} \right)^n$$
- always size 2?
- $$F = \cdots \cdots (x_1 \vee \circ \vee \circ) \cdots \cdots (\bar{x}_1 \vee \circ \vee \circ) \cdots \cdots$$

これまでの卒論では
・近似アルゴリズム
・組合せゲーム理論
が取り組まれている。

近似アルゴリズム

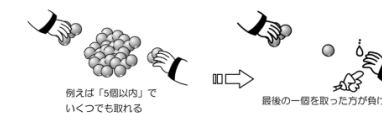
ビンパッキング

- 使用するビン(箱)の数が最小になるように、アイテムを詰め込む。



組合せゲーム理論

二人対戦石取りゲーム (ニム)



- 先手が有利? 後手が有利?
- 石取りゲームはルールによっては簡単に先手必勝手順が見つかる
- じゃあ「一列に並べて隣り合う石しか取れない」ルールなら…?
- 一列ではなく、グラフの頂点に石を置いてみると…?

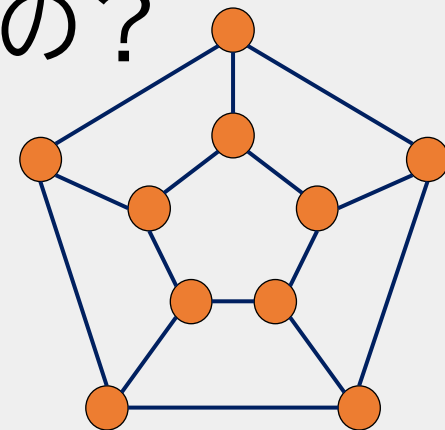
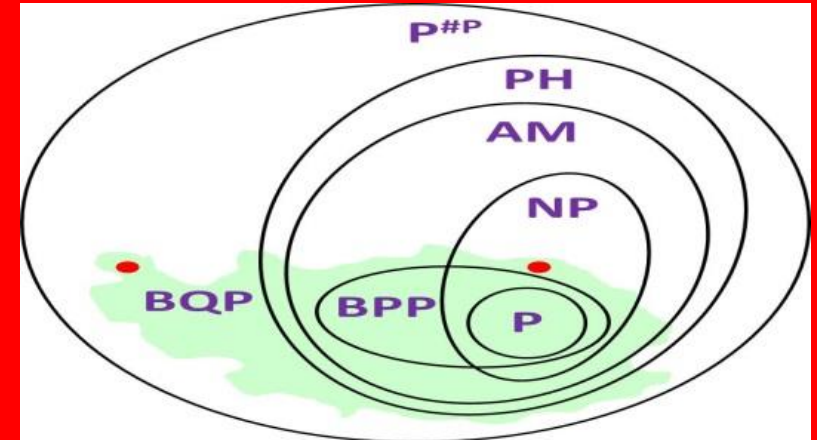
計算量理論

⇒ 問題の『難しさ』
を追求するテーマ

⇒ $P \neq NP$ 問題を筆頭とした様々な課題が

- ⇒ 非決定性計算って強いのか？
- ⇒ 乱数を使うと扱える問題は増えるのか？
- ⇒ 量子アルゴリズムって本当に強いのか？
- ⇒ 難しいパズルってどんなのか？
- ⇒ 難しいゲームって？

計算量理論



厳密アルゴリズム

⇒ NP完全な問題を
できるだけ早く解く

⇒ 多項式時間アルゴリズムが
存在しなさそう…

⇒ 総当たりで考えると $O(2^n)$ の計算時間
⇒ 良いアルゴリズムだと $O(1.618^n)$ で可能！

⇒ 最悪なケースでは $O(2^n)$ の計算時間
⇒ ほとんどのケースでは早く終わる！

厳密アルゴリズム

Exponential Time Algorithms for 3SAT

- 2^n algorithm is trivial
- 1.618^n [Monien, Speckenmeyer 85]

$$F = (x_1 \vee x_2 \vee x_3)(x_1 \vee \bar{x}_4 \vee \bar{x}_5)(\bar{x}_2 \vee \bar{x}_6) \cdots (\bar{x}_1 \vee \bar{x}_4 \vee \bar{x}_5) \cdots$$



$$T(n) = T(n-1) + T(n-2) \Rightarrow T(n) = \left(\frac{1 + \sqrt{5}}{2} \right)^n$$

always size 2?

$$F = \cdots \cdots (x_1 \vee \circ \vee \circ) \cdots \cdots (\bar{x}_1 \vee \circ \vee \circ) \cdots \cdots$$

近似アルゴリズム

⇒ NP完全な問題を『雑に』早く解く

⇒ 最適解でなくても良いので近似解を

⇒ 単なる解ではなく、精度の保証を

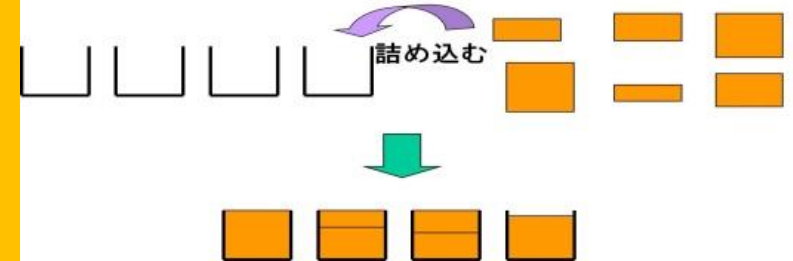
⇒ 多項式時間アルゴリズムとそこそこの精度を両取り

⇒ 実用上も便利！

近似アルゴリズム

ビンパッキング

- 使用するビン(箱)の数が最小になるように、アイテムを詰め込む。



組合せゲーム理論

⇒ ゲームやパズルを
計算量の観点で

⇒ 『難しい』パズルとそうでないパズル？

⇒ 計算量理論の言葉で説明可能

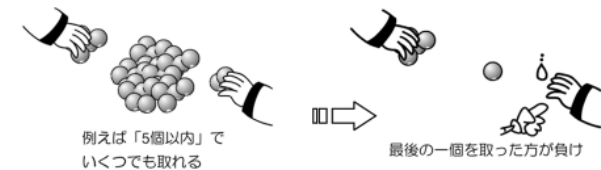
⇒ 勝つのが『難しい』ゲームと…？

⇒ 同様に説明可能

⇒ グラフやSATから帰着して証明

組合せゲーム理論

二人対戦石取りゲーム (ニム)



- 先手が有利？ 後手が有利？
- 石取りゲームはルールによっては簡単に先手必勝手順が見つかる
- じゃあ「一列に並べて隣り合う石しか取れない」ルールなら…？
- 一列ではなく、グラフの頂点に石を置いてみると…？

どんな学生がマッチするか



- ⇒ 読む見る考える遊ぶが好きな人
 - ⇒ 基本的に論文・教科書相手の生活
 - ⇒ 人間と共同作業でモノづくりが一番遠い…
 - ⇒ 学会懇親会でボードゲームをすることも
 - ⇒ 研究室にもたくさんあります

- ⇒ 研究室に居座りたい人
 - ⇒ 雑談から解決の糸口が見つかる事も
 - ⇒ 一人で黙々と研究するのも◎

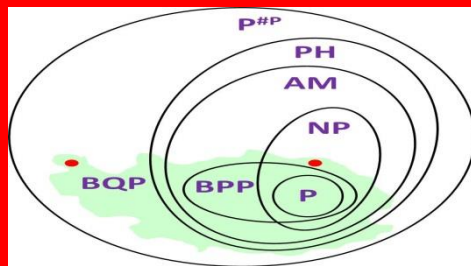


長尾研にてお待ちしております。

⇒ アルゴリズム・計算量を研究しませう

⇒ 自身の興味をアルゴリズムに絡めるのも歓迎！

計算量理論



厳密アルゴリズム

Exponential Time Algorithms for 3SAT

- 2^n algorithm is trivial
- 1.618^n [Monien, Speckenmeyer 85]

$$F = (x_1 \vee x_2 \vee x_3)(\bar{x}_1 \vee \bar{x}_4 \vee \bar{x}_5)(\bar{x}_2 \vee \bar{x}_6) \cdots (\bar{x}_1 \vee \bar{x}_3 \vee \bar{x}_5) \cdots$$

$$\begin{array}{c} x_1=0 \quad \quad x_1=1 \\ \swarrow \quad \quad \searrow \\ T(n-1) \quad \quad T(n-2) \end{array}$$

$$T(n) = T(n-1) + T(n-2) \Rightarrow T(n) = \left(\frac{1+\sqrt{5}}{2} \right)^n$$

always size 2?

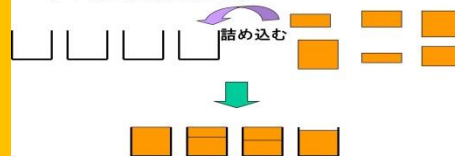
$$F = \cdots \cdots (x_1 \vee \vee \vee) \cdots \cdots (\bar{x}_1 \vee \vee \vee) \cdots \cdots$$



近似アルゴリズム

ビンパッキング

- 使用するビン(箱)の数が最小になるように、アイテムを詰め込む。



組合せゲーム理論

二人対戦石取りゲーム (ニム)



- 先手が有利？ 後手が有利？
- 石取りゲームはルールによっては簡単に先手必勝手順が見つかる
- じゃあ「一列に並べて隣り合う石しか取れない」ルールなら…？
- 一列ではなく、グラフの頂点に石を置いてみると…？